



## 我が家の防災・火災から命をまもる

2021年1月吉日  
発行 富士が丘防災部会  
後援 富士小校区まちづくり  
推進協議会

### ◆火災から命をまもる◆

怖いものの例えである「じしん、かみなり、かじ、おやじは」もう昔の話？ おやじはともかく他の3つは今も最も怖いものには変わりはありません。特に「火事」は、人の不注意や油断で起きることが大半を占めており、最も身近でおこる災害です。

貴方の「日頃の対応」が自分や家族の命をまもることに繋がります。

#### (1) 火事をいち早く発見する為に、住宅用火災警報器を設置しましょう

- 火災警報器は煙や熱を感知して、警報音や音声で火災発生を知らせます。逃げ遅れ防止のため、火災警報器を設置しましょう。また、定期的に作動確認を行い、10年を目安に取り換えましょう
- 火災警報器は、平成16年6月に設置が義務化されています。(寝室への設置は必須です)
- 住宅火災で死亡した人の56.3%が逃げ遅れが原因です。いち早く火事に気付くことで命をまもることができて、隣家への類焼も防げる可能性が高まります



#### (2) 火事を発見したら

- 大声で「火事だー火事だー」と何度も叫びましょう(家族や隣近所に知らせるのが重要です)
- 急いで119番通報、そして初期消火をしましょう(火事を発見したら、近くのゴミステーションに設置してある消火器を持って駆けつけましょう)
- 延焼を防ぐのが大事、火が出て2~3分が勝負
- 初期消火の成功率は60%、炎が天井に達したら消火は諦めて逃げる。決して無理をしない
- 消火器は、女性や老人でも扱いやすいスプレー式や火元に向かって投げるだけの消火剤もあります



#### (3) 煙から逃げる (一酸化炭素中毒から身を守る)

住宅火災で亡くなる方の4割は、  
一酸化炭素中毒が原因です。

- 一酸化炭素は、炭素を含む物質が、酸素が不足した環境で燃焼(不完全燃焼)した時に発生する気体です。火災で発生する煙の中には一酸化炭素が多く含まれます
- 一酸化炭素を含んだ空気を吸うと、血液中の酸素濃度が低下し、脳細胞に酸素が供給できなくなり、酸欠状態になり、意識障害を引き起こし、最悪の場合は死に至ります

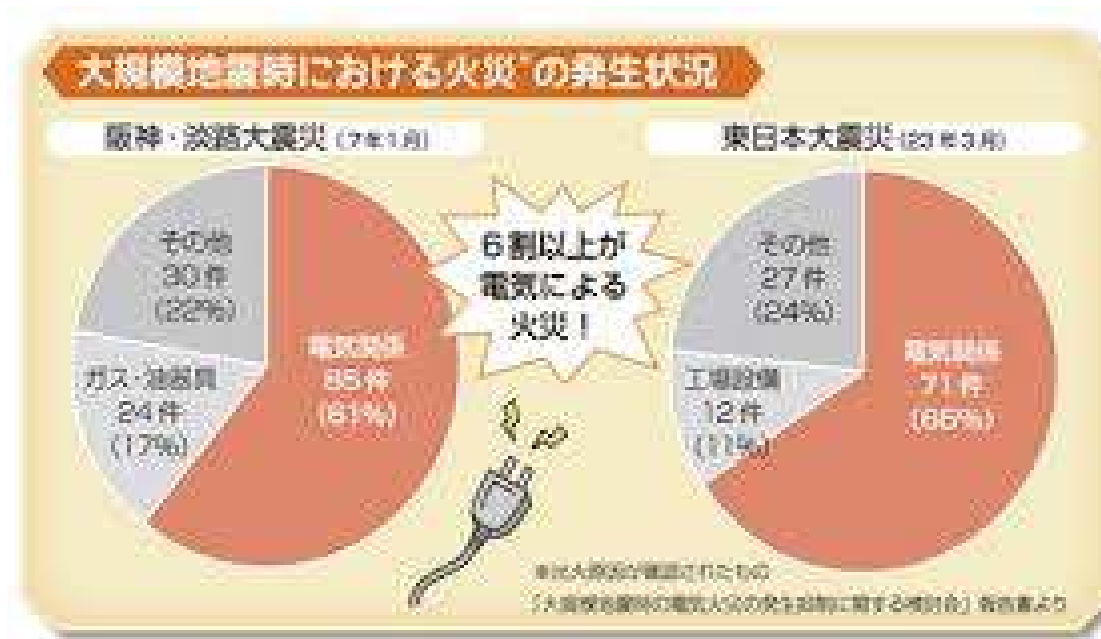


- ・煙から脱出するには、ぬれタオルを口と鼻にあて、姿勢を低くして床を地をはうように避難する  
(なるべく息を止めてすばやく脱出)
- ・ナイロン袋に空気を入れてかぶって避難 (1分半ぐらい呼吸できる。小さな袋の場合は、口にくわえる)



#### (4) 通電火災(復電火災)について

- ・電気ストーブや白熱電球を使ったスタンドなどは、台風や地震による停電のあと、電気が復旧したとき、切れたと思っていた電気製品が再び作動し、これが火元となって起こるのが、通電火災です。従って、停電中に外出等する際は、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切りましょう
- ・阪神大震災では、原因が特定された建物火災の6割が、通電火災によるもので、火元は電気ストーブや白熱スタンド、オーブントースター等でした
- ・安価な対策として3000円ぐらいで市販されている「感震ブレーカー」の設置をお勧めします  
感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として、電気を止めます  
コンセントタイプもあります (感震ブレーカーは、特に外出中の停電に有効です)



感震ブレーカー



コンセント型



#### (5) 停電が復旧時にブレーカーを入れる前に

- ・配線やコードおよび電気器具に破損のないことを確認する
- ・燃えやすいものが電気機器の近くにないことを確認する

防災便りは、富士が丘ポータルサイト (☞ 「富士が丘」で検索) にも掲載しています。

<http://sanda-fujigaoka.com/2016/12/03/5802#tayori>

#### ◆つぶやき◆

防災は「段取り八分」と言われます。「備えあれば憂いなし」という格言もあり日頃の小さな積み重ねが大切です。寒さが続くこの時期は、暖房器具に頼らざるを得ませんが、くれぐれも火事には気を付けたいものです。(m.y)

